**グループホーム住ま居る　運営推進会議　議事録**

令和1年6月22日　14：00～

場所　グループホーム住ま居るにて

出席者　・ご家族　３名

・多治見市役所福祉課　宮上様

・笠原地域包括支援センター　関谷様

　　　　・民生委員　赤穂様

・住ま居る　井下、村松、宇野、田中、三戸

1. 現状についての報告　6月20日現在（村松）

・入居総数　１８名（男性１名、女性１７名）　　　・平均年齢８６歳

・平均介護度　３

・介護１：５　　介護２：２　　介護３：２　　介護４：６　　介護５：３

・８０歳代：１０人　　９０歳代：５人（～９７歳）　　・６０歳代後半、７０代：３人

・前回の会議以降、入退所された方、入院された方はみえません。

・５月・・・スマイル会。利用者様、ご家族様にご協力を頂き開催することができました。ありがとうご

ざいました。天気も良く、楽しい時間が過ごせました。新しい職員が中心となって、個性を生かし、スタッフ自身も楽しんで行えた。

　　・６月・・・気温差や天候の変化がみられてきました。特に水分補給に気を付けて脱水予防に努めていきます。リビング・居室の温度、湿度に注意して、空調管理を行っていきます。随時、衣替えやお布団の

　　　交換を生活係を中心に行っています。気づいた点ありましたら、声をかけてください。食中毒に気を付けていきます。ご家族様も面会の際、食べ物をご持参されましたら声をかけてください。

　　　消防訓練を実施しました。新しいスタッフを中心に夜間を想定した訓練を行いました。

　　・４月からスタッフ小栗がA棟のケアマネとして業務を行っております。ご家族様と小栗と一緒に相談しながら計画書を作っています。

２、健康面について（田中看護師）

・特指示による訪問看護の介入が１名あります。足の傷の処置を１日１回させていただいています。

この方は現在、月２回のながお在宅クリニックの往診プラス皮膚科の先生に１回看てもらっています。

・前回入院された方、２週間の入院後施設へ戻られ、２週間は医師の指示により訪問看護で看させていただいた。その後体調崩されたが、観察で様子を見ています。

・４月に理学療法士が入社し、グループホームも回って覗いています。機能訓練士による専門の情報やアドバイスをもらうことができます。今後、もっと足を動かしたいといったご要望があれば機能訓練士による専門のリハビリ等を使う方法もあります。

・これからも月２回の往診と、訪問看護による定期的な健康観察を行っていきます。

３、行事・レクのご様子（スライドを見ながらご説明）

４、意見交換

　　・ご家族様・・・先日、衣類の不足が無いか確認しに来たところ、衣類のボックスの中がきれいに整頓されていた。きちんとしてくれているという所が垣間見れた。本当にありがたい。

・ご家族様・・・入居して１０年になる。入居前は「徘徊」や「物とられ症候群」で困っていた。これからもよろしくお願いします。

（村松）ご飯を「ご自分で食べたい」というお気持ちがあられ、うまく食べれなくてもそのお気持ちを

大事にしたい。今の笑顔に元気を頂いている。

・ご家族様・・・家族会が本当に楽しかった。生き生きした写真を兄弟に見せ、良い施設に入れて良かったと話した。おそらく家族会がきっかけで、お母様が昔の話（実際は行ってはいないが、お墓参りに行って来たという話）をされた。認知が進んでいるせいもあるが「良かったね」という会話ができた。細かな点（インフル、熱中症、防災など）で、いろいろきちんとやってくれている。

・市役所　宮上様・・・４月に市内グループホームでの虐待という事件が起きた。まさかと思う人が

起こした。単にその人の資質が原因で起こることではないと考える。そのことも踏まえ４つ質問したい。

1. 申し込みの待ちの状況。

（村松）約２０件申し込みをいただいている。

1. 災害対策。水害、台風時に電気に依存しすぎない空調の対策はあるか。

（村松）水害、土砂災害、風水害に対してマニュアルが作ってある。住ま居るグループ全体として

作り上げている段階。グループホームとしては、照明（電池式、ソーラー発電式）は準備がある。

水、食べ物については備蓄がある。福祉避難所として毛布等の物品の保管があります。

　　　　（井下）住ま居るグループでは、医療機器が使えなくならないよう、ガスボンベをはめる発電機を数台持っているので、ある程度はしのげます。

　　　　　　災害時にどのように受け入れが出来るのか、レンタルサービスには常時ベッドや車イスの在庫がある。それをどのように使っていくか検討していく。

　　　　（宮上様）市外からクーラーボックス１つ借りるだけでもしのげることもある。日進月歩であると

思いますが何らかの対策をお願いします。

1. 事故報告について　市内で昨年１年間に約100件の報告があった。今年度４月～６月ですでに33件の報告が上がっている。1.5倍のペースです。ヒヤリハットや事故対策はどうしているか。

（村松）転倒された時は事故報告を上げさせていただいている。

　　ヒヤリハットの場合は、書面にするまではいけていない。ノート形式で書きやすく工夫し、ちょ

っとした事でも書くようにしたことで、発信しやすくなった。大きな事故につながらないように

気を付けている。

　　　　（井下）事故報告は、病院受診が報告のラインと把握しています。

　　　　　　虐待に関して、事件があった３日後に外部講師による社内研修を実施しました。

1. スタッフのメンタリティーケアはどうしているか。誰が行っているか。

（村松）日頃のちょっとした時間に、村松・宇野が不満も含めて聞いている。風通しの良い雰囲気と

　　コミュニケーションを取るように心がけている。良いところに気づいて生かしていくように努め

　　ている。

（井下）住ま居るグループ全体で約１００人のスタッフがいる中で、上司と部下の関わり方について

　　考えるために、管理職を対象に５月から１年間の研修を始めた。管理職が統一した接し方ができ

　　るよう学んでもらう。

　　女性スタッフが９割を占めるなか、ここ最近はセクハラの問題が出てきている。弁護士に相談し

　　アドバイスをいただき、社内の対策窓口として三戸を配置し組織的な対応をしている。

　　（ご家族様）事故等に対して、逆に市の方からはどのような発信をしているのか。

　　（宮上様）２ヶ月に１回行われる、ネットワーク会議（１００人から２００人が集まる会議）にて、行政から発信をしている。

　　・笠原包括　関谷様・・・４月～笠原包括にきました。（久しぶりに住ま居るに来て）４年前と変わっていないな、法人が大きくなった、きちんとやってみえるなという印象持った。「タンスの中がきれいにされている」というのは、当たり前のようで難しいこと。どこも人が足りない中で、多治見市のグループホームでの虐待事件が起きた。ニュースで毎月のように起こる事件について、考えていかなければならないと感じる。

・民生委員　赤穂様・・・前回の会議の際、役割分担してやっていると聞いて、良いことだと感じていた。家族会のスライドを見て、例年の中でも一番楽しそうに見えた。一人一人みんな笑顔だった。やっぱり笑顔が一番！良かったと思う。

　　・井下・・・今日は参加人数が少なくて、もう少し参加人数がいるといいと思う。参加されたご家族様にはせっかくの機会なので、どんどんご意見を言っていただきたい。

５、その他

　　・７月の往診日　４日・１８日の木曜日　午前９時頃～

・次回の運営推進会議は８月２７日（火）14：00～15：00を予定しています。

・１０月の秋祭りについて　現在計画中ですが、今のところ１０月の第１日曜日を予定しています。また決まりましたらご連絡します。運営推進会議も兼ねて、午前中に会議を行いたいと考えています。